

2022 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|---|----------|-------------|--|------|-------------------|---------------------------|
| 学 科 | 臨床工学技士学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科 目 名 | 関係法規 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 15 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年次 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 403 |
| 担 当 教 員 | 新井 篤史 他 | 実務経験とその関連資格 | 島根大学医学部附属病院などの医療機関にて臨床工学技士として勤務経験あり また職能団体での活動経験あり | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 臨床工学技士を取り巻く関係法規を理解することで、①医療関係者用語を正しく解釈できる。②職場の機能を客観的に知ることができる。③医療過誤における責任のあり方を理解できる。④臨床工学技士として誇りを持って業務できる。⑤良心的な精神で医療技術を提供することができる。⑥適性且つ良質な医療の普及に努めることができる。ことを目標とする。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 定期試験：80％ 課題レポート：20％ ;GW(グループワーク)後 2回 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 臨床工学技士標準テキスト第3版増補 配布資料(臨床工学技士業務指針2010等) | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 新聞などの最新の情報を確認し、「医療」だけではなく広く「社会の情勢」などを知ることによって法律やルールの運用方法を理解しながら受講する | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 患者や医療職の関係やチーム医療において法律などは重要な規定となることから、ルールの必要性やその意味を考えながら受講する | | | | | | |
| 授業の方法 | | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療職は法律などの規律によって成り立っていることが説明できる | | 配布資料 | 特になし |
| | | 各コマにおける授業予定 | 医療関係職種に関する法律について | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 臨床工学技士法の成り立ちと必要性を説明できる | | 臨床工学技士標準テキスト第3版増補 | 臨床工学技士法について予習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床工学技士法の成り立ちと必要性 | | 配布資料 | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | チームとしての各医療職種の関わりを説明できる | | 臨床工学技士標準テキスト第3版増補 | 臨床工学技士法について予習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各医療職種について(医師法・保健師助産師看護師法など)① | | 配布資料 | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | チームとしての各医療職種の関わりを説明できる | | 臨床工学技士標準テキスト第3版増補 | 医師法・保健師助産師看護師法・について予習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各医療職種について(薬剤師法・臨床検査技師に関する法律・診療放射線技師など)② | | 配布資料 | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 臨床工学技士と関連する法律を説明できる | | 臨床工学技士標準テキスト第3版増補 | 臨床工学技士を取り巻く関連法規に関して予習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 関連法規(薬事法・製造物責任法・公正取引に関する法令など) | | 配布資料 | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|-------------------------------|---------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 関連法規の変更に伴う多職種の法的解釈について説明できる | 臨床工学技士標準テキスト第3版増補 配布資料 | 臨床工学技士を取り巻く関連法規に関して予習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 関連法規の変更に伴うタスクシフティングについて | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 臨床工学技士業務指針2010の業務内容を説明できる | 臨床工学技士標準テキスト第3版増補 配布資料 | 臨床工学技士業務指針2010について予習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床工学技士業務指針2010について① (呼吸器業務 血液浄化業務 心臓カテーテル業務 とGW) | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 臨床工学技士業務指針2010の業務内容を説明できる | 臨床工学技士標準テキスト第3版増補 配布資料 | 臨床工学技士業務指針2010について予習しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床工学技士業務指針2010について② (体外循環業務 周術期業務 機器管理業務等 とGW) | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |